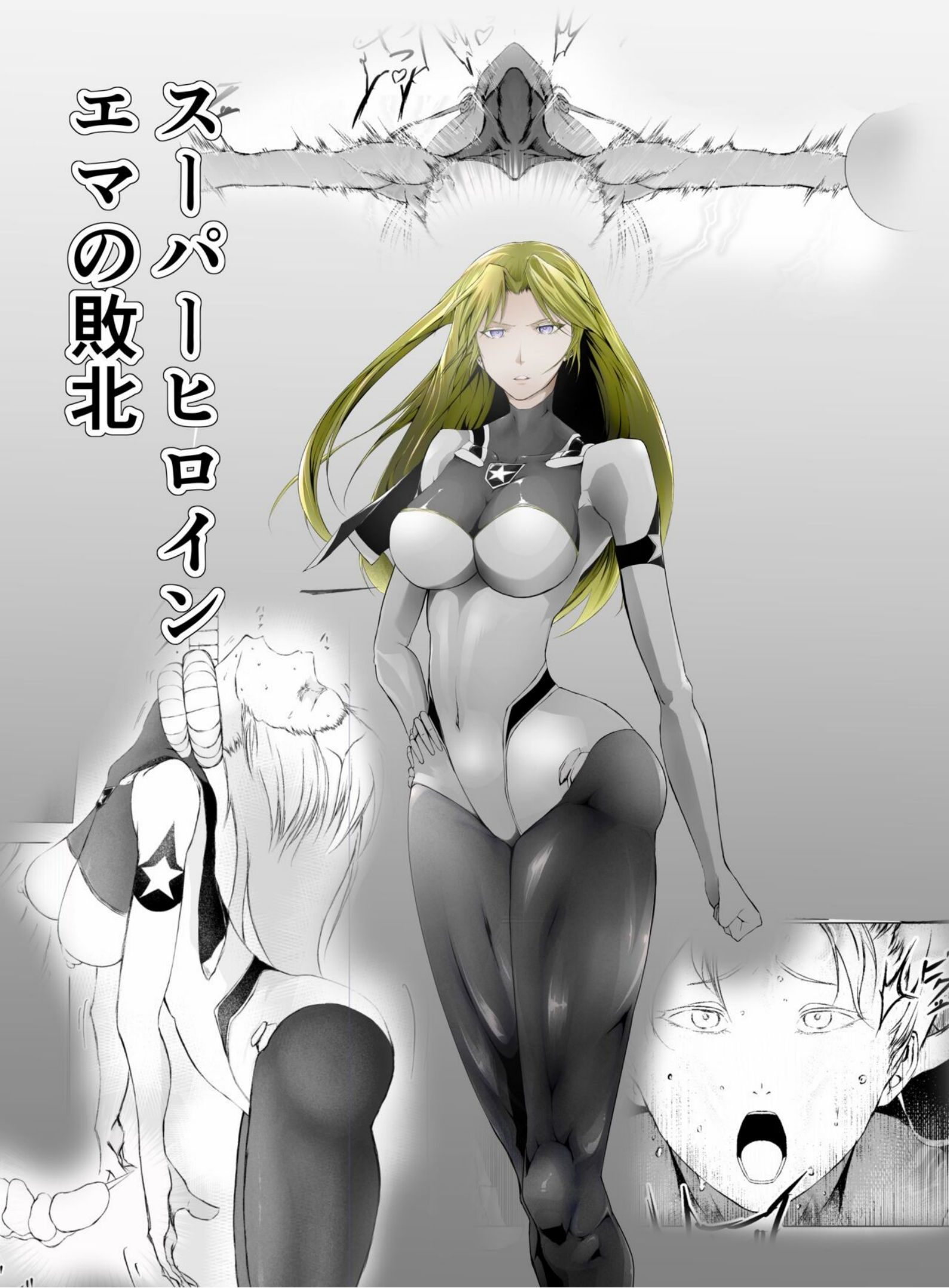


スーパーヒロイン エマの敗北





やはり人の焼ける
匂いは良い…

私はゾマ
今日はこの国の支配の為
人間共に私への恐怖を
植えつけに来た

撃てえっ!!

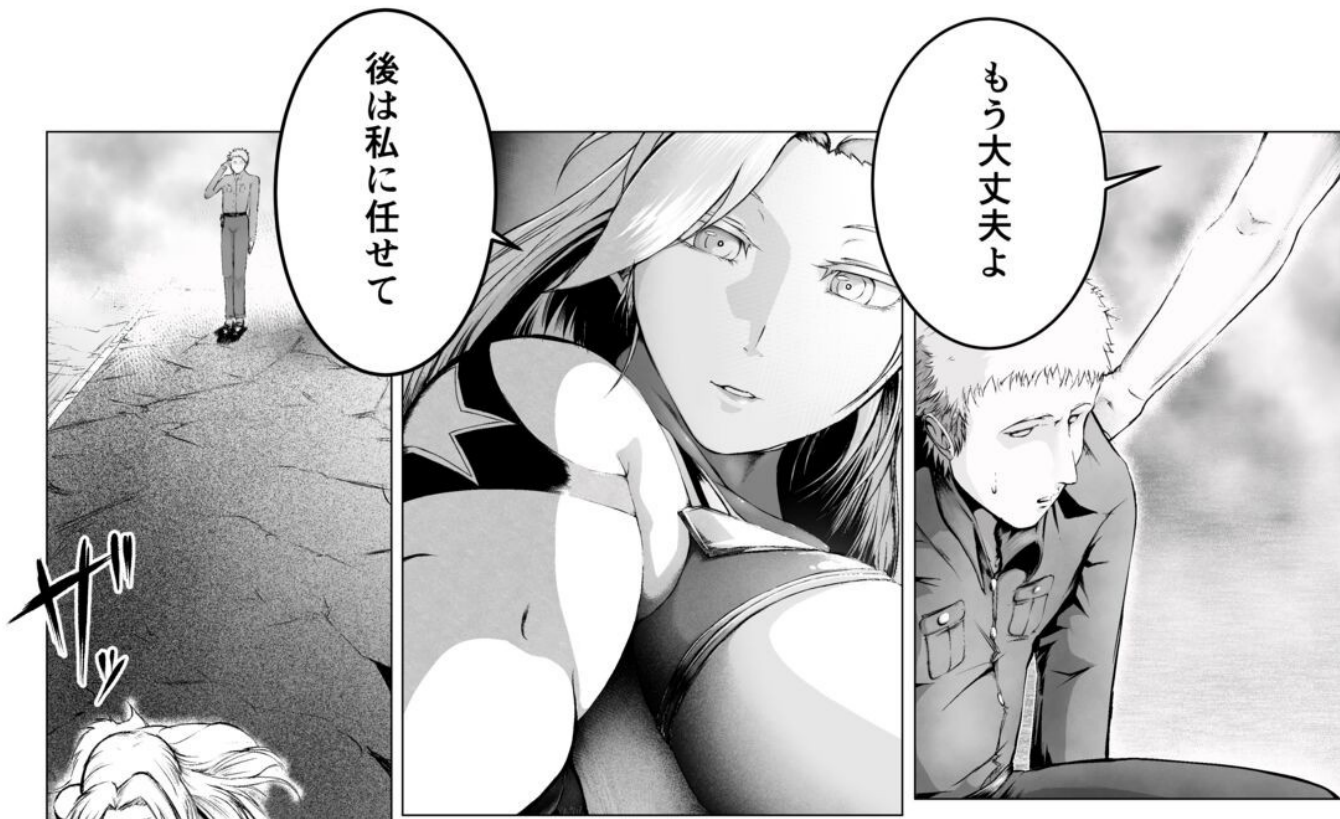
撃て!!





もう大丈夫よ

後は私に任せて



ぬう...
一体何者だ...



ハ
ア
ツ
!!







はあああああ



はあああああつっ!!

見て!
エマが怪人を
圧倒してるわ!!

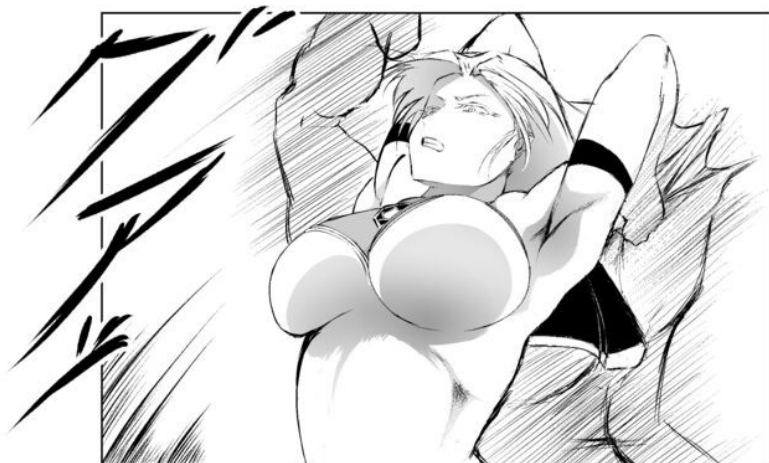
さすがエマ!!
私達のスーパーヒロイン!!
彼女がいる限り
平和は揺るがない!!



本当に人間の
力なのかっ!?



ば、バカな…
なんだ
この力は!?



はあああッ
!!!!





死ぬ前に
お前が何者なのかを
教えてくれ...



俺はもう
致命傷を負った...
決着はついている...

ま、待て...
聞いてくれ



わ：かりました
名乗りましょう





この国を
怪人から護る使命に
生きる守護者



私はエマ

スーパーパワーを
持つ超人にして



私がいる限り
人々の平穏を
奪わせはしない



グハハハ...

時間稼ぎ成功だ

地下に仕込ませた
魔獣達の準備が整った

こいつらの顎は
人間の肉骨を鎧ごと潰す力がある

魔獣よ...
その女を噛み殺せッ!!

チャッ!



バ...バカな



こんなにあっさりと...

その卑劣さ
あなたに慈悲など
無用だった様ですね

クッッ！

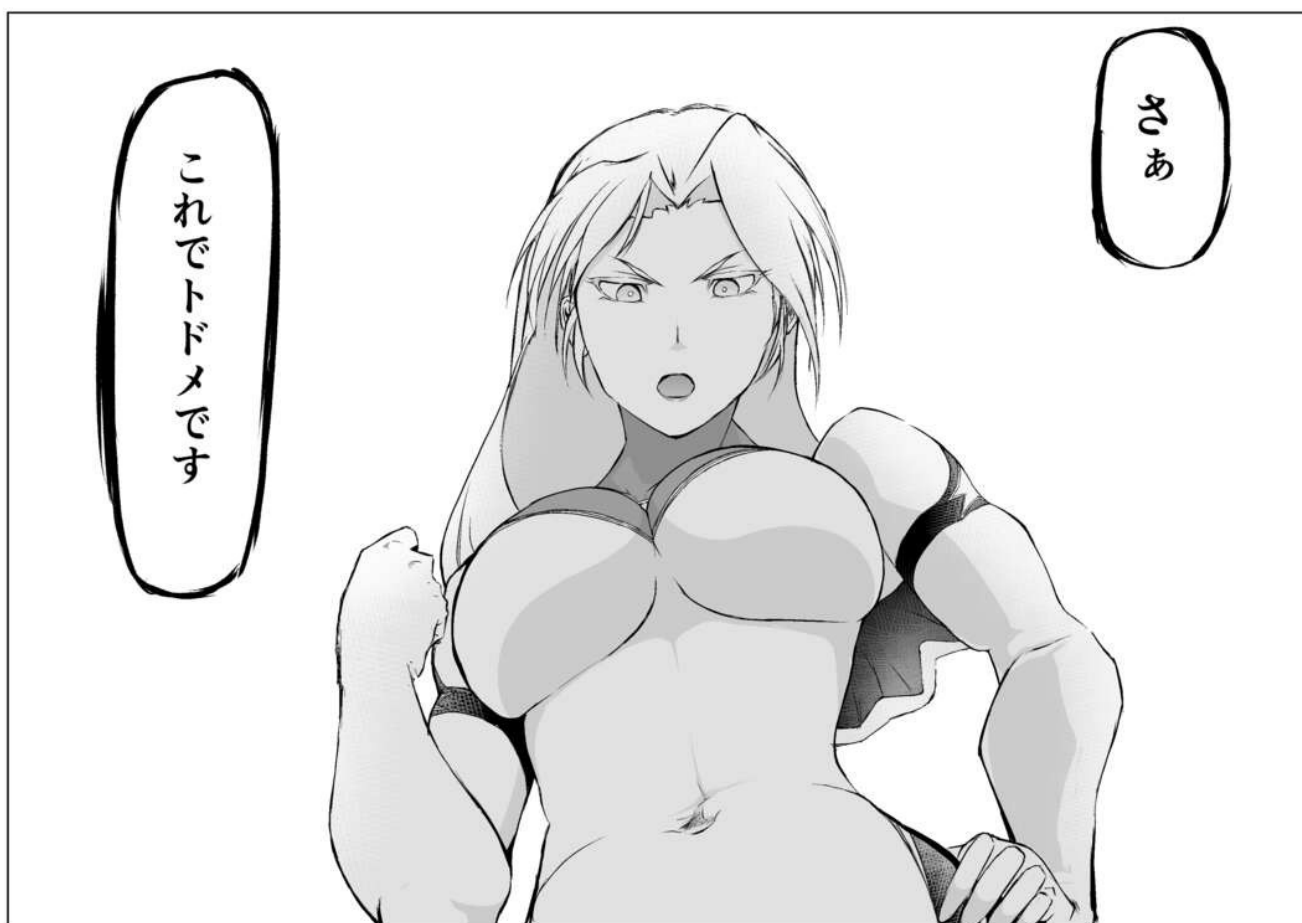
もう少し時間が
稼げれば
身体が再生も
行えた筈が...

おのれ...
私が人間の女などにッ!!!



さあ

これでトドメです







大丈夫ですか？

良かった！
無事の様ですね



お、おいおいっ！
怪物がこんな近くにっ！

さあ、今のうちに
逃げるのです！

急ぎなさい！！

ええ…
あ…

き、金髪の美女！

生で…しかも
こんな近くで
初めて見たぜ

なんとか身体に
触れねえかな…

ええ…
ええ…

動きたいのは
やまやまなんだけどさ…

今ちよつと動くの
辛いというか

お姉さんに運んで
もらいたいなあ
あ、いてて…

つ、辛いとしても
今だけは耐えて
逃げるのです

私には人の状態を
見抜く力がある
この人のケガは
擦り傷だけ
動くのに支障は無い

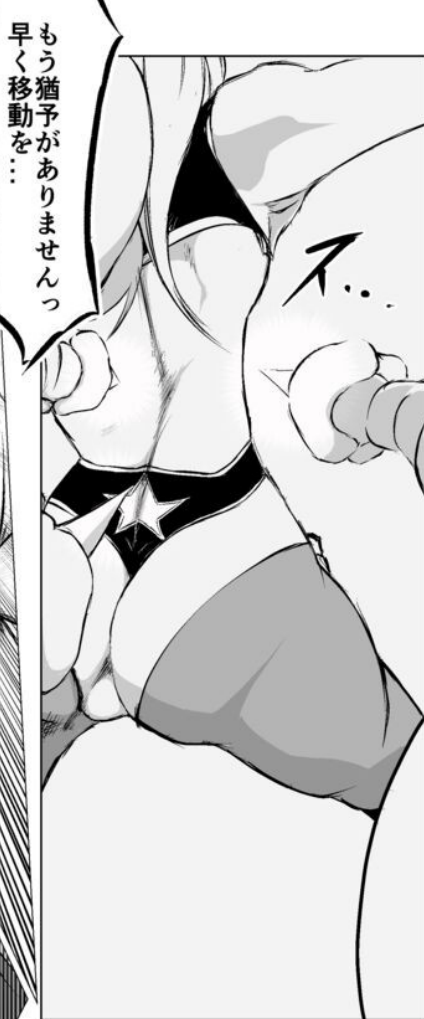
ええ…
そんな無理な事
言われてもなあ

あなたはまだ助かる！！

もう少し粘れば
イケそうか？

あ、イタタ…
やっぱどっか骨折れてるわ
お姉さん連れてってよ！

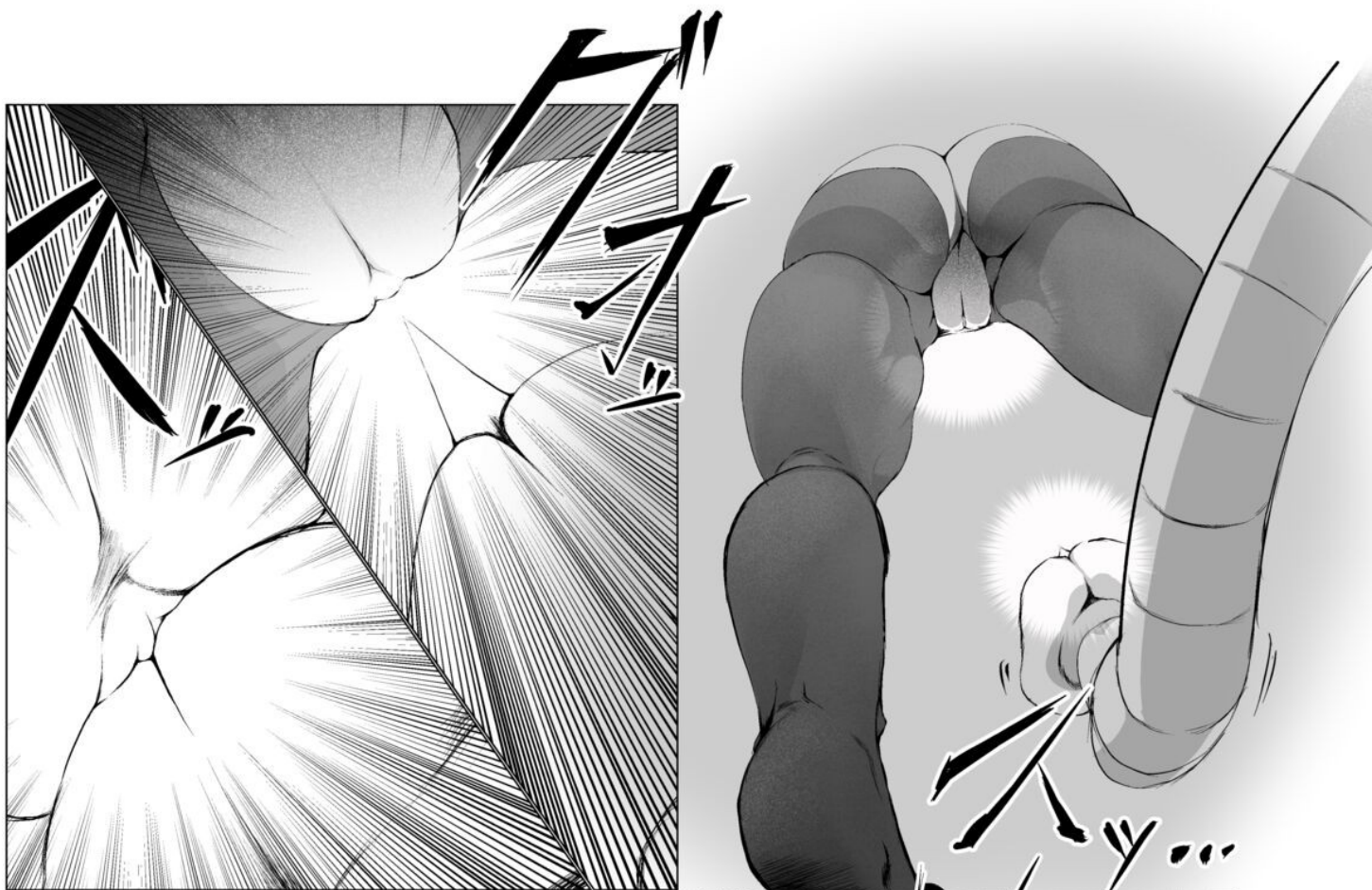
ヒッ
ズッ





痺れて身体の
自由が効かないっ!!





ふう…
想像よりも
時間が稼げたな

お陰で身体が
再生出来た





なっ
なんて所に針をっ!?

そ、そこはっ!!



ダメっ
耐えられないっ!!

あっあっ







あんな所に
攻撃されたせいで
身体がいう事を
きかなくなっている...

か、身体に
力が入らない...



あああああ



そこそこはっ！

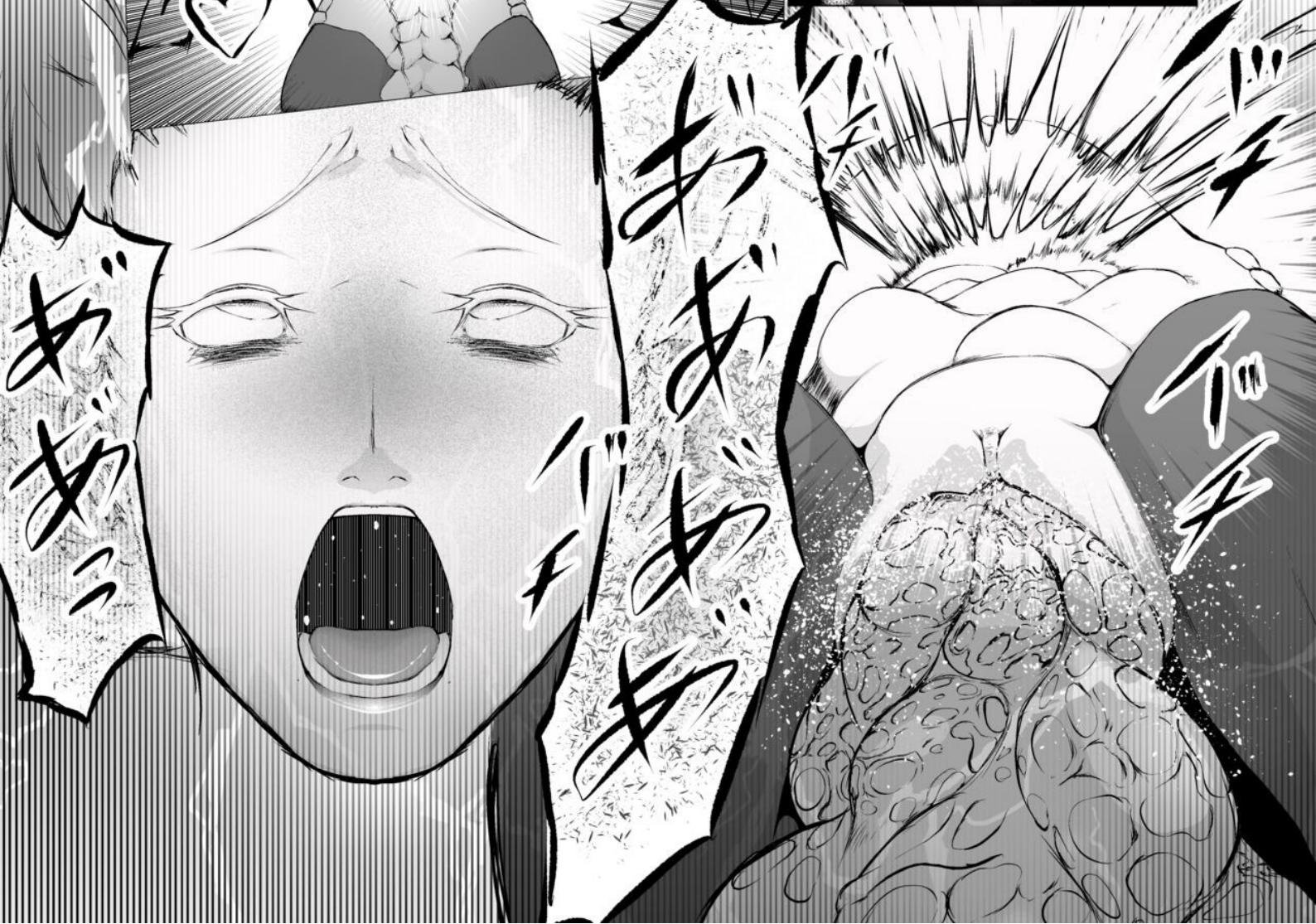


女の大事な
所の奥っ！！



決り潜って
来るっ！！

ふっ太いっ！
おぞましい形を
した何かが…っ！

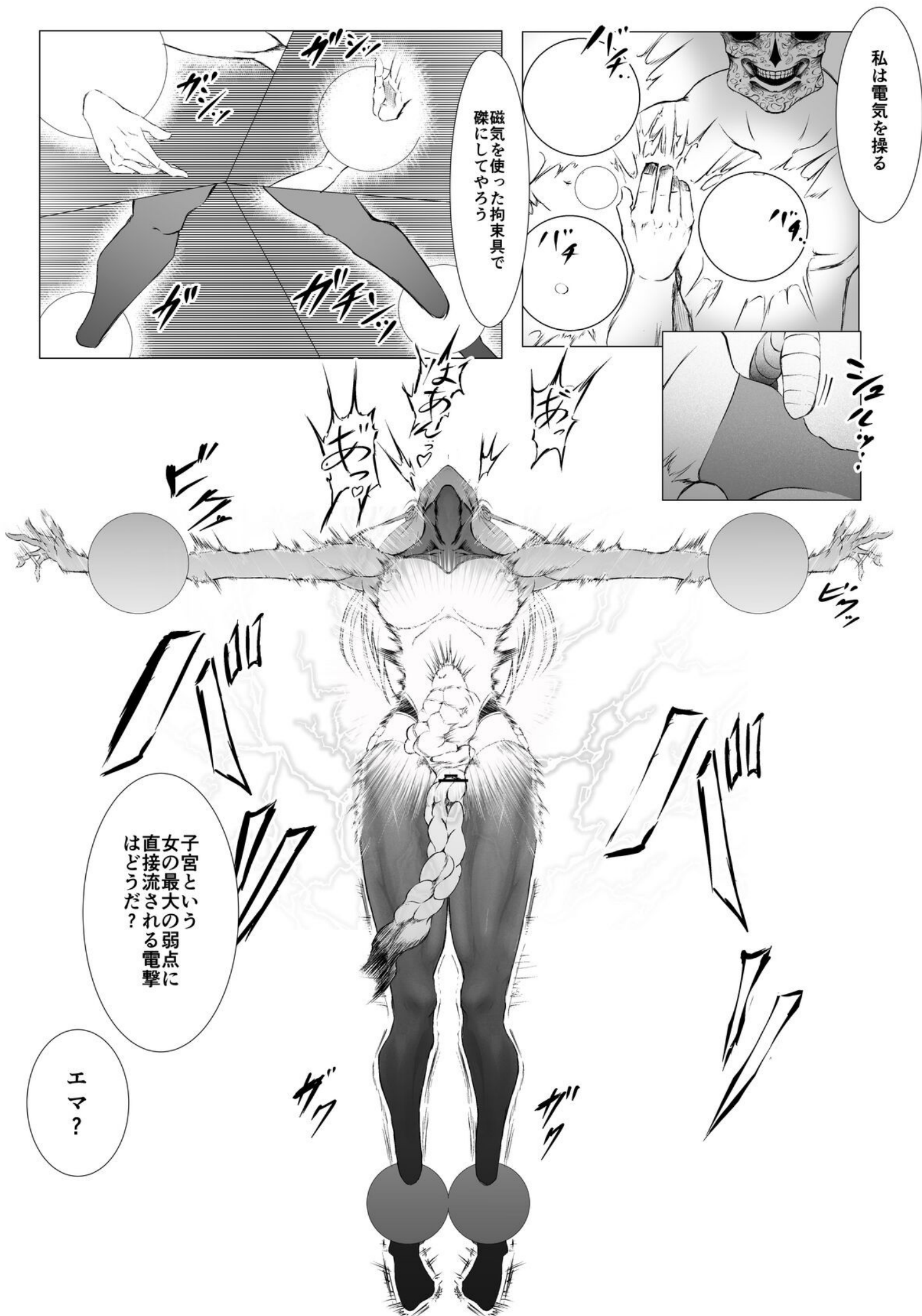


私は電気を操る

磁気を使った拘束具で
磔にしてやろう

子宮という
女の最大の弱点に
直接流される電撃
はどうだ？

エマ？

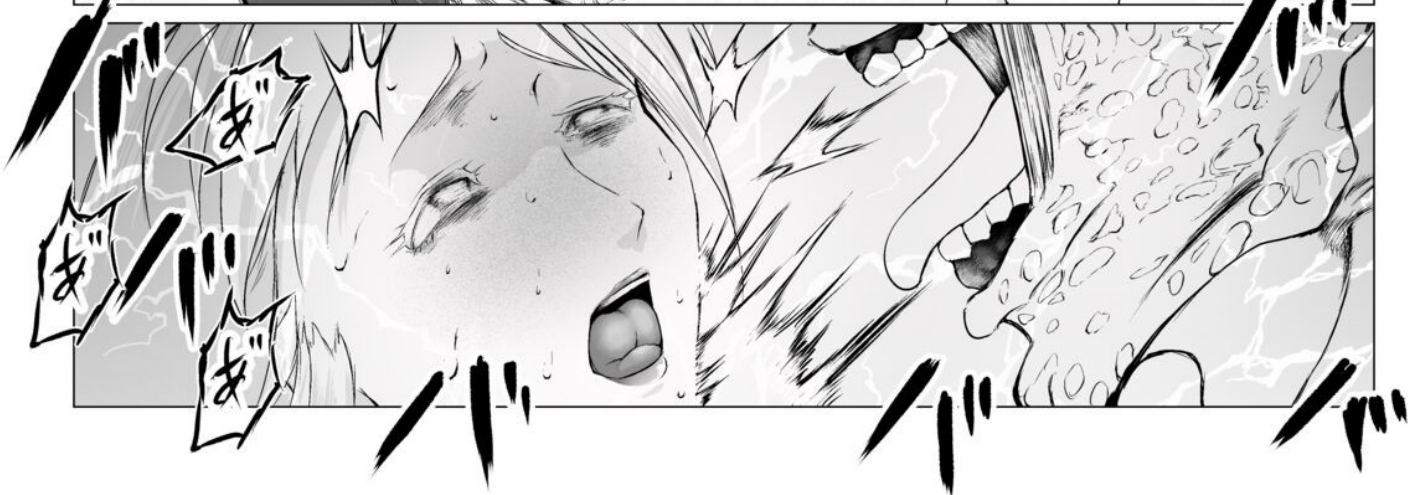




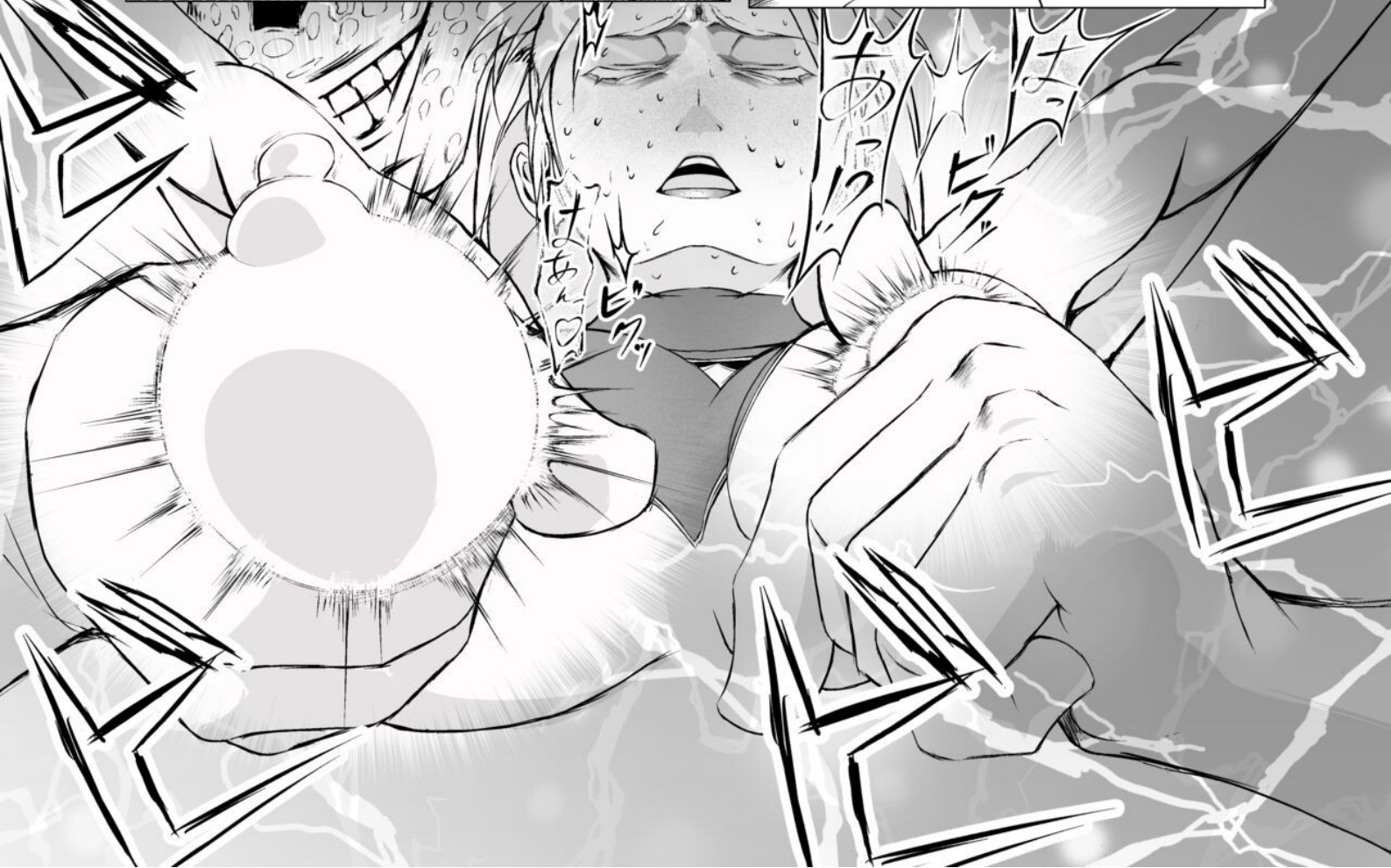
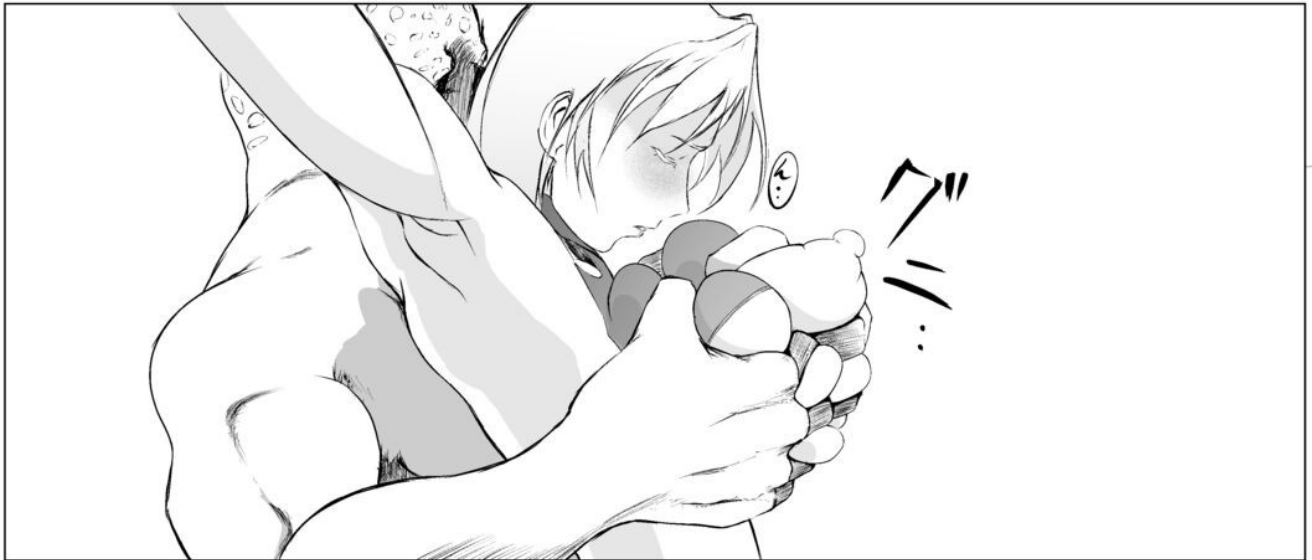
あはあああああつっ!!

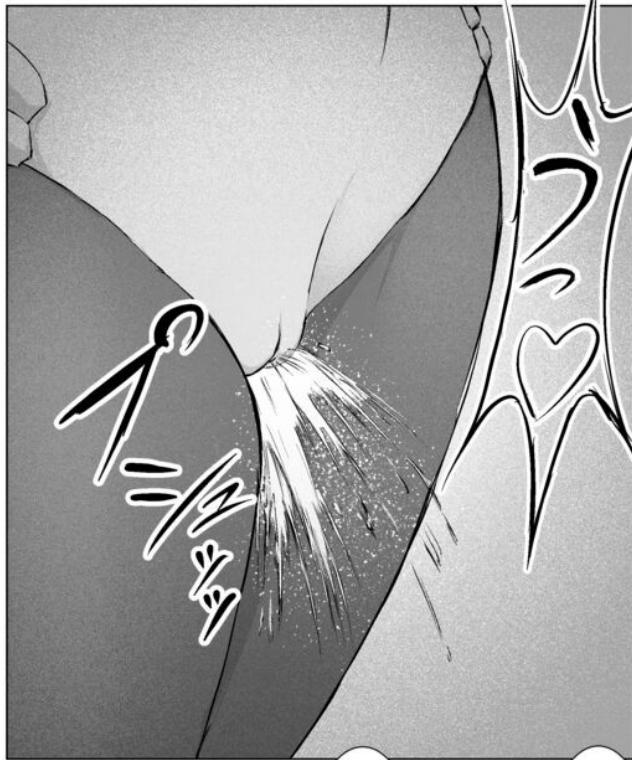
電撃ッ
強すぎるッ

意識が
飛ぶ...っっ!!









男よりも女の方が
絶望の色が濃いな

女の声援の
大きさといい

お前が女の
ヒーローだからか

特に女に
慕われていた
のだろう

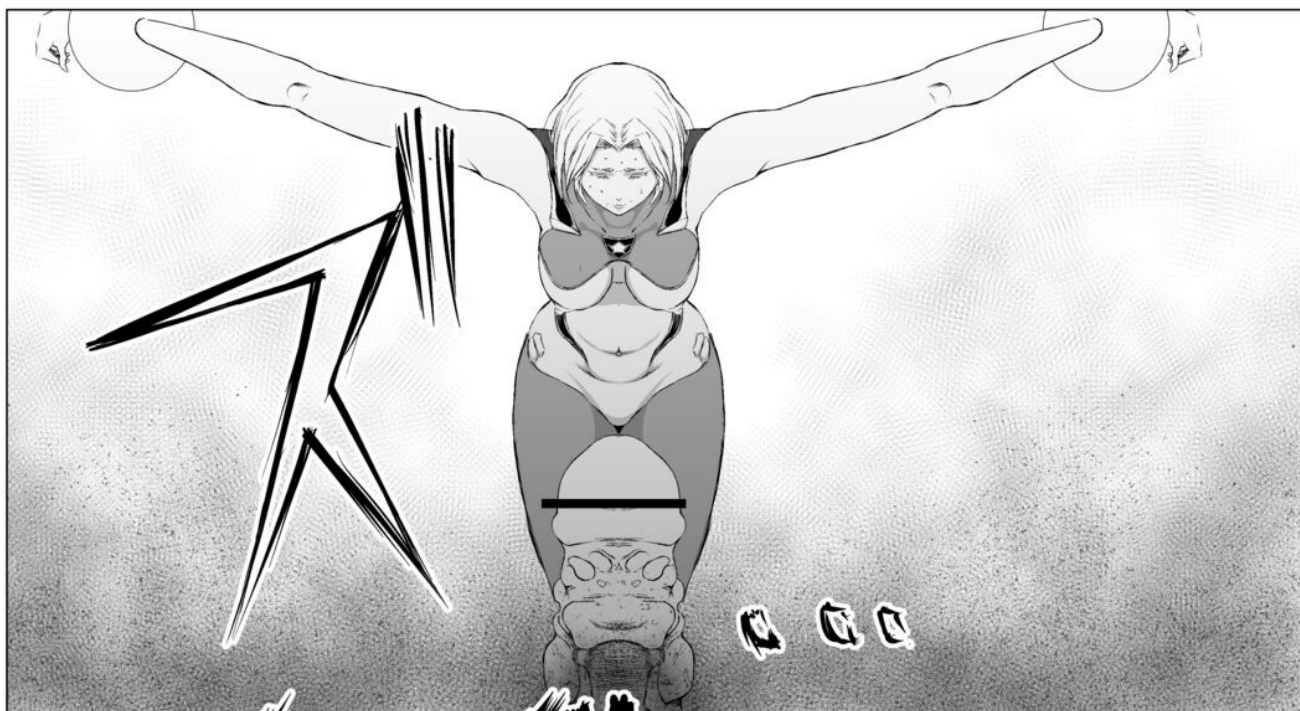
暴力に立ち向かう
お前の姿は

脆弱な女共の希望
だった様だなあ



では：
お前のファンの女共
にも苦痛を味わわせてやろう

その間
お前はそいつに
調教されるがいい









性器はやめてッ



し、子宮が
攻撃されてるッ

ま...また
意識が...
飛ぶ...



あーあーあー



悲鳴！



そうよ
私はスーパーヒロイン エマ

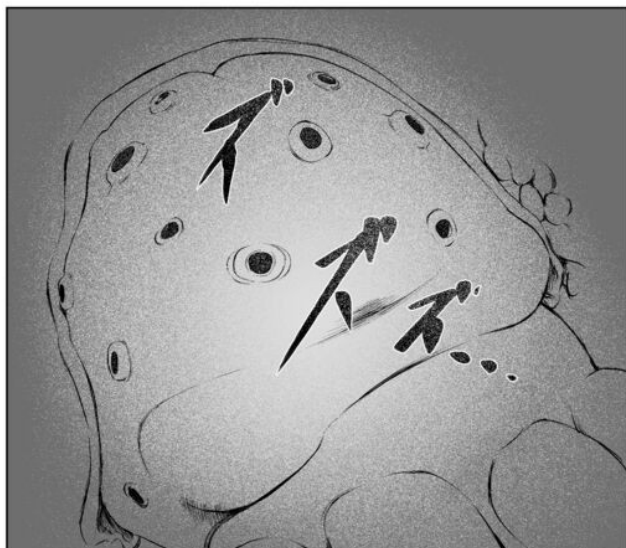


護る
使命があるっ!!



私には善良な人々を
怪人の魔の手から





人々を...

護る...

使命が...

必ず...

救って...



エマは敗北した

見せしめの様に磔にされた姿は
人々に絶望を与えた

まるで妊婦の様に
膨れ上がった
スーパーヒロインの子宮は

怪人の苗床にされて
しまったのだった



